



スロヴェニア リュブリャーナ大学 愛のある国 —スロヴェニア共和国



スロヴェニア北西部にあるブレッド湖と教会の風景[著者撮影]

私はスロヴェニア共和国のリュブリャーナ大学文学部へ、協定校派遣留学制度を利用し2022年10月から2023年7月まで滞在しました*。「なじみのない国に行ってみよう」というのがスロヴェニア留学を決めた理由でした。アメリカやイギリスなどはあまりに普通に見えてしまった私は、スロヴェニアのリュブリャーナ大学を見つけた時、これだ、と確信しました。もちろん、最終的には教育水準や開講科目を調べたうえでの選択でした。

現地では大学付近の寮に滞在し、月360€程度のスロヴェニア政府の奨学金を受けていました。

多くの留学生は欧州圏出身ですがアジア研究科

があるために、国籍を問わず非常になじみやすい大学です。また、EU加盟国で通貨はユーロですので、欧州圏内の旅行もしやすいです。

* 青山学院大学学部在籍時

日本の文化を外側から見る

今回は個人的に驚きの体験であった、日本とスロヴェニアの関係についてイベントに触れながらご紹介します。スロヴェニアでは、しばしば日本文化に関係のあるイベントが開催されます。Dan Japonske (日本の日)、MofuCon(モフコン)、SILAのバザー(女性団体主催のイベント)などあります。在スロヴェニア日本人が少ないことから、留学生も運営ボランティアとして参加しました。書道、生け花、折り紙、等様々な日本の文化を教える側として現地の方々とコミュニケーションが取れました。SILAのバザーでは、都市のメインストリートを各国の大使館がオリジナル衣装をまとって行進するというプログラムがありました。この年は日本が先頭を行進する年だったので、私たちははっぴを身にまとい、盆踊りをしながらそぞろ歩きました。スロヴェニアで炭坑節。改めて私たちの文化を外から眺めてみる非常に良い機会であるとともに、スロヴェニアと日本の文化を共有できる貴重な体験となりました。



日本文化イベントDan Japonskeでの盆踊り[知人撮影]

愛を持つ唯一の国

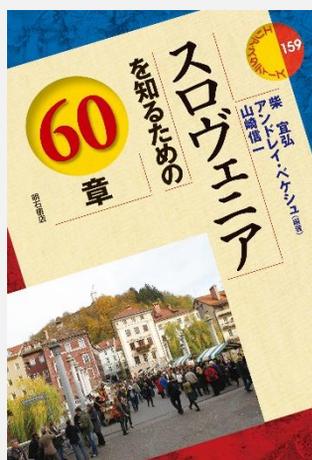
おそらく、多くの方がスロヴェニアという国がどこにあるか知らないと思います。かくいう私も東欧ということ以外、詳細は知りませんでした。スロヴェニアに留学に行くと伝えると、家族や友人は「スロヴァキア？」とよく聞いてきました。そんなスロヴェニアですが、人口200万人、国土面積はほぼ四国と同じ大きさで、イタリアの東、オーストリアの南に隣接する小国です。リュブリャーナ大学はスロヴェニアの首都リュブリャーナにある国内最大級の高等教育機関です。私はそこの文学部へ在籍しました。また、文学部アジア研究科内に日本語学科があるため馴染みやすく、友人もすぐでできますし、母語話者として日本語クラスのサポートもしました。

スロヴェニア(Slovenia)は、国名に愛(love)を含む唯一の国です。小さな国で、日本での知名度もまだまだ低いですが、国柄、人、自然、文化、あらゆる魅力が詰まったロマンティックな国です。皆さんも、このスロヴェニアの愛に触れてみてはいかがでしょうか。



郷土料理のヨタ、
ジュガンツイ、
クロバサ[著者撮影]

オ ス ス メ の 一 冊



スロヴェニアを知るための60章

柴宜弘, アンドレイ・ベケシュ, 山崎信一 編著

(明石書店, 2017年)

【請求記号】2390:54

明石書店の「～を知るための〇章」シリーズで、スロヴェニア版です。その名の通り、スロヴェニアについての様々な情報が、リュブリャーナ大学日本研究科の教授をはじめとする様々な方々によって書かれています。スロヴェニア人は日本人に匹敵するほどの蕎麦の消費大国であるとか・・・(アイダajdaという名前で親しまれています)。

執 筆 者 紹 介

菅野 光

言語社会研究科 / 修士課程1年

趣味は読書とバレーボール。

また最近はスロヴェニア語の勉強も続けています！

